

## 地域おこし協力隊通信 (No. 50)

### チャレンジ拠点 YOKANA / をリノベーション?! (由華)

種子島に移住してから、初めてDIYにチャレンジしている湯目由華(ゆのめゆか)です！最近一番の感動は、電動ドライバーの威力とスピードです。実は、来月4月で地域おこし協力隊2年目になります。移住して1年、あっという間ですね。地域おこし協力隊終了後を見据えて、4月からは役場の庁舎内から旭町商店街に活動拠点を移して、地域おこしに貢献する活動をしていきます。拠点は旭町商店街の旧航空センタービル。10年ほど空き店舗になっていた場所を、DIY経験のない私たちと、応援してくださるみなさんの知恵・力をお借りしてリノベーションします。なぜ、【わざわざ古い建物を、【みんな】でリノベーションするの、少しお話しさせてください。中種子町には多くの空き家・空き店舗があります。空いている期間が長いから、人に貸せる状態じゃない。壊すしかない。そんなお話も聞きます。もし、壊さずに、空き店舗・空き家を自分で使ったり、人に貸し出すことで、その建物の「歴史」や「物語」が受け継がれていったら、とても素敵じゃないでしょうか？私は、空き店舗や家を使う人が増えて、何か新しい活動やものが生まれたら、中種子町の素敵なところが残り続けるし、もっと素敵な場所になるのでは？と考えています。現在、毎週水曜日と土曜日の午後、建物をリノベーションしています。拠点を住民のみなさんと少しずつ直したり、その場でお茶を飲んでお話しすることで自分たちで直しても使えるんだ。人に貸すことができるんだ。もしかしたら、自分たちが管理している空き家も、こんな使い方が出来るかな？そう思うきっかけになればと思います。この拠点をきっかけに、中種子町に沢山のチャレンジが生まれ、わくわくした大人が増えて、それを見た子供もこの街をもっと好きになる。そんな循環が起こって、中種子町がもっともって素敵になればいいなと、DIYをしながら、今日もわくわくしています。

湯目由華(ゆのめゆか)地域デザイナー地域の課題を住民の創造力で解決し、次世代に繋がる魅力ある地域を実現したいみなさんの身の回りの「地域の課題」を、一緒に考えさせてください

2020年10月号より、町の皆さんからよくいただく『地域おこし協力隊制度』や私達についての質問を、毎月少しずつ紹介しています！

#### 【第5回】4月から、ふたりはどんなことをするの？

1年目は主に役場にいた二人が、4月から旭町商店街の旧航空センターをリノベーションして、拠点を構えます！ともふみさんは役場企画課に、ゆかさんは新拠点にいるので遊びに来てね！

ともふみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の空き家バンク登録のお仕事を手伝い</li> <li>・登録できない空き家の活用方法の検討</li> <li>・Facebookなどの情報発信</li> <li>・新拠点の運営</li> </ul> <p>ライターのお仕事募集中</p>
ゆか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭町商店街の活性化に繋がる仕事を創る</li> <li>・空き店舗を利活用した新拠点を運営する</li> <li>・みなさんのやりたいことを一緒に実現する</li> <li>・みなさんのやりたいことと行政を繋ぐ</li> </ul> <p>まちづくり相談・お仕事募集中</p>



2人には引き続き、まちづくりのイベントや、空き家・空き店舗の活用方法など、チャレンジしたいことを相談して良いんだ



新しい拠点はどんなところなの？

名前は、チャレンジ拠点YOKANA(よかな)

「何かに挑戦したい！」「新しいことを始めたい！」という志を持った人々が集まり、手を取り合いながら、前向きに挑戦する場所です。  
「YOKANA」の由来は、種子島の方言で「イイネ！」を意味する「よかな」(YOKANA)。  
あなたのアイデアを「よかなあ〜！」と応援しながら、誰もが新しいことに前向きになれる願いを込めて、名付けました。



時間貸しのシェアキッチンでお惣菜を販売したり、カフェをしてみたり。イベントスペースで習い事やお教室をしたり出来るよ。ぜひ一度遊びに来てね。